

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第2期入学試験問題
(必修： 酪農機械学)

【出題の意図】

本試験は、学生が有機性廃棄物の資源循環および再生可能エネルギー利用に関する基礎的理解をどの程度体系的に習得しているかを評価することを目的とした。

問題1では、食品製造や食品特性を学んできた学生が有する基礎的な有機物理解を前提に、メタン発酵という代表的なバイオマス処理技術の原理を正しく説明できるかを確認するとともに、食品系廃棄物を「廃棄対象」ではなく「資源」として捉え、環境負荷低減や資源循環の観点からその意義を論理的に説明できるかを評価する。

問題2では、関連する基本概念（カーボンニュートラル、再生可能エネルギー、FIT制度、堆肥化、副資材（メタン発酵・有機物処理における）、温室効果ガス、消化液、グリーン水素、スマート農業、バイオマス）から任意の語句を選択し簡潔に解説させることで、学生が分野横断的な用語を正確に理解し、自らの言葉で要点をまとめる能力を評価する。特に、バイオマス利用、循環型農業、エネルギー政策、脱炭素化といったテーマに関連する基礎概念の整理と、それらの相互関係の理解度を把握する意図がある。

以上により、学生が講義で学んだ内容を体系的に整理し、資源循環・再生可能エネルギー分野における基礎知識を専門的かつ応用的観点から説明できるかを総合的に評価する。